

公開講座 第18回光明池セミナー 報告

先に実施しました公開講座「光明池セミナー」について、下記のとおり報告します。また、あわせて参加いただいた皆様、運営にご協力をいただいた皆様に心よりお礼申し上げます。

1 第18回光明池セミナーの概要

日時 令和5年11月18日(土) 午後2時から4時30分

場所 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 研究所大会議室

対象 府民、教育関係者、病院関係者、
府内の保育園、幼稚園、小中高・支援学校の教職員及び保護者

内容 テーマ「知っておきたい「てんかん」の基礎」

(1) 講演 「てんかんを知って、うまくつき合おう」

大阪母子医療センター小児神経科 最上友紀子医師

けいれんと発作についてなどの基礎知識に関わることから、発作の様子や対応の動画などまで、大変分かりやすい講演であった。治療のメリットとデメリットや薬の種類や調整など、広く府民の関心に応えた内容も充実していた。正しい知識で安全な関わりを持つことが大切であることがよく理解できた。

(2) 分教室発表(大阪府立羽曳野支援学校大阪母子医療センター分教室)

「分教室(院内学級)で携わったてんかんの子どもたち」

教育相談や地域校連絡会などの取り組みと、分教室で学習していた子どもたちの様子の報告があった。

2 アンケート結果報告

参加者数 63名 アンケート回答数 54件(回収率 86%)

参加者情報

- ・年齢層 ①20~30代(50%) ②40~50代(42%) ③60~70代(7%)
- ・居住地 ①大阪府(89%) ②兵庫県・和歌山県・奈良県(2%)
- ・学校関係者所属 ①小学校(45%) ②中学校(31%) ③支援学校(13%)

光明池セミナーについて

- ・何で知ったか ①学校(74%) ②病院HP(11%) ③泉北コミュニティ(5%)
- ・参加回数 ①初めて(78%) ②2回目(9%) ③9回目(5%)
- ・医師の講演 ①とてもよく理解できた(61%) ②ほぼ理解できた(32%)
- ・分教室発表 ①とてもよく理解できた(48%) ②ほぼ理解できた(37%)

自由記載(46件より一部抜粋)

- ・最上先生の講演では、てんかんがどのようなものであり、どのように対応すればよいのか、良く勉強でき、自分自身にとってとても良い時間となった。
- ・分教室が、どのような取り組みをされているのか理解できた。
- ・最上先生の「プールに入れてあげたい」「行動の制限はしない」「楽しみは大切」という子ども一人ひとりの人権やQOLを尊重した話に感銘を受けた。
- ・学校が丁寧に支援されていることが事例報告からよく分かった。現状を教員が正しく捉えることは、子どもの成長と学習保障を踏まえた重要な視点と感じた。

3 考察とまとめ

- ・医師の講演、分教室ともに「よく理解できた」「ほぼ理解できた」という意見があり、好評であったことがうかがえる。
- ・当日は悪天候であったにもかかわらず、欠席者が非常に少なかった。質疑応答も大変活発であった。「てんかん」のテーマの需要が高かったことがうかがえる。
- ・病院との共催であり府民講座であるという特色から、学校関係者だけでなく祖父母や家族連れの方の参加があった。